

「えこ便」で廃食用油回収

リサイクル業の平林金属（岡山市北区下中野）は21日、家庭で不要となった資源の集積施設「えこ便」で、天ぷらなどに使った廃食用油の回収を4月1日から始めると発表した。

対象は岡山市内の全4施設。不純物を取り除いた油をペットボトルなどの空き容器に入れて市民らに持ち込んでもらう。重さによってポイントを付与し、景品に交換する。

回収した油は、DOWAグ

平林月金属から岡山市内全4施設

ループのバイオディーゼル岡山（同市南区海岸通）が買い取り、バイオディーゼル燃料の原料に用いる。精製した燃料は、ごみ収集車や自治体の焼却炉などに使われる。

原料をより多く確保したいバイオディーゼル岡山からの依頼を受け、回収を決めた。平林金属は「廃食用油の地域循環を進め、温室効果ガスの排出削減に貢献したい」としている。（岸本渉）